

明石にじいろキャンペーン

ジェーン・スーさん講演会

いろいろな家族のかたち

～いまの自分の「ちょうどいい」を見つけよう～



2022

12/10(土)

14:00 - 16:00 (13:30開場)

会場:子午線ホール(アスパア明石北館9F)

手話通訳・要約筆記あり

入場
無料

定員
290名
(先着順)

保育
あり
(要申込)

※事前申込制

主催:明石市政策局ジェンダー平等推進室LGBTQ+/SOGIE施策担当

Profile

ジェーン・スー さん

コラムニスト・ラジオパーソナリティ



1973年東京生まれの日本人。

TBSラジオ「ジェーン・スー 生活は踊る」(毎週月～木曜 午前11時～)のパーソナリティを担当。

また、話題のポッドキャスト「ジェーン・スーと堀井美香のOVER THE SUN」を毎週金曜17:00に配信中。

『貴様いつまで女子でいるつもりだ問題』(幻冬舎)で講談社エッセイ賞を受賞。

著書に『私たちがプロポーズされないのには、101の理由があってだな』(ポプラ社)、『女の甲冑、着たり脱いだり毎日が戦なり。』(文藝春秋)、『生きるとか死ぬとか父親とか』(新潮社)、『これでもいいのだ』(中央公論新社)、『女のお悩み動物園』(小学館)。2021年に『生きるとか死ぬとか父親とか』がテレビ東京系列でドラマ化され話題に。

2021年12月に『新しい出会いなんて期待できないんだから、誰かの恋観てリハビリするしかない:愛と教養のラブコメ映画講座』(ポプラ社)、『ひとまず上出来』(文藝春秋)を2冊同時に刊行。

新著『きれいになりたい気がしてきた』(光文社)が現在発売中。

「家族」ときいて、なにを思い浮かべますか？

育ってきた家族、いまの家族、ペットが家族、仲よし同士の家族。

だれと生きるか、あるいは、一人が居心地がいい人ももちろんいます。

家族の組みあわせだって、たくさん。

血のつながらない親子も、いわゆる事実婚の夫婦も、同性同士のカップルも。

はたから見れば“ふつー”の家族でも、うまくいくときも、うまくいかないときもある。

もやもやがたまっていたり、人に言えない悩みやしんどさを抱えていたりする。

新進気鋭のコラムニストであり、日々ラジオ・ポッドキャストでたくさんのお悩み相談に乗っているジェーン・スーさんに、ご自身の経験や、「女はこう・男はこう」、家族や人生にまつわる「こうあるべき」から解放たれて、自分の「ちょうどいい」を見つけるに至ったお話をお聞きします。

等身大のお話を聴いて心がスッと軽くなる、そんな時間になることを願って企画しました。



子午線ホール(アスピア明石北館9F)
明石駅南口から徒歩3分

お申込み・問合せ

ご参加希望の方は、事前にお申込みください。

(先着順・定員290名・申込開始は11月4日9時～)

電話・FAX・メールで①～⑥をご連絡いただいた方に整理番号をお知らせします。

当日は受付で整理番号をお伝えください。

- ①講演会名
- ②お名前(ニックネーム可)
- ③お住まいの市町村名
- ④電話・FAX番号
- ⑤参加人数

⑥一時保育希望者は子どもの名前(ふりがな)、年齢

※対象:1歳半～就学前、保育申込×切 11月30日(無料・先着5名)

FAX・メールでお申込みの方は、送信後、ジェンダー平等推進室から「申込完了」の返信をもって参加の受諾とします。送信から3日をすぎても返信がない場合はご連絡ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大状況等により変更になる場合があります。 ※当日はマスク着用、手指消毒、検温にご協力お願いします。

明石市ジェンダー平等推進室
LGBTQ+/SOGIE施策担当



078-918-6056



078-918-5294



gender@city.akashi.lg.jp

